

広報 **MUTSU** むつ

- みんながつながるむつ市の総合情報誌 -

2014.11.10 vol.1



むつ市政だより から 広報むつへ!



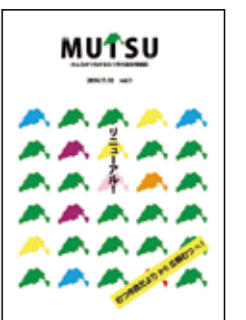
11.10
2014
vol.1

目次 contents

- 2 広報紙リニューアル記念対談!
- 8 夢はぐくむ体験入学
- 9 エイミーのヨモヤマ話
- 10 あつと陸奥覧
- 12 安渡館アイデア募集
- 13 元気もりもり町内会
- 14 幼稚園、保育所等の入所受付変更
- 16 information
- 22 健康教室・予防接種 他
- 23 相談日程 他
- 24 この人むっちょ星

表紙

むつのローマ字とむつ市の地図を組み合わせてロゴを刷新!
さまざまな色の地図を配置し、市民のみなさんがつながることをイメージしました。



広報紙リニューアル記念対談! 宮下 宗一郎 むつ市長 × 佐藤 淳 青森中央学院大学専任講師

宮下宗一郎市長が就任して4か月余りが経過しました。今回、広報紙のリニューアル特集の記念対談として青森中央学院大学の佐藤淳氏をお迎えし、むつ市発展にかける宮下市長の現在の思いを存分に語っていただきました。(文中敬称略)

「地方創生」という大きな流れを捉える(宮下市長) むつ市版「地方創生」を(佐藤)

宮下市長 佐藤先生には行政評価など当市の市政各般にわたりいつもご協力いただきありがとうございます。県内といっても遠いところおつかれさまでした。

佐藤 こちらこそ前市長時代からフィールドを与えて頂く形で色々やらせていただき感謝しています。

す。むつ市は地域資源もいっぱいあるし可能性があると思います。では、さつそくですが、今後の市政運営で重点的に取り組みたいことはどんなことですか。

宮下市長 まず、日本全体の現状をみるとキーワードは「アベノミクス」ということだと思います。これは金融緩和だったりしますが、日本全体では、非常に株高になつたり円安が進んだりという面では大きな成果を出しつつあると思います。一方、むつ市に限ってみればなかなかこの「矢」が届いていない。むしろガソリン価格や輸入品が高くなって、逆に生活が苦しくなっているというのがこの地域の現状だと思います。

そこで、今回新たに地方創生と

佐藤 淳(さとう あつし)

青森中央学院大学専任講師
昭和43年十和田市生まれ
早稲田大学商学部卒業
早稲田大学大学院公共経営研究科修了
早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員
同 人材マネジメント部会幹事
むつ市行政評価アドバイザー
青森県下北地域県民局下北地域活性化協議会会長 など
著書(共著)

「点描～変わりゆく現代社会」(ぎょうせい)
「あなたにもできる議会改革」(第一法規など)

その他地方政治、行政についてテレビ、新聞、雑誌のコメント、寄稿多数



いう「まち・ひと・しごと」ということでアベノミクスの4本目の矢が放たれたということですから、この流れをしっかりと受け止めて私が選挙でお約束したいくつかの項目も盛り込んだ形でうまく仕上げていくことが必要と思つています。そういった点がこの1年か2年で重点的にやることです。

佐藤 地方創生とは、現在の雰囲気ではまだ国が主役で、国がお金を交付するというニュアンスで受け止められている部分がありますが、地方創生の主役はやはり地方なので、地域の方々がしっかりといいアイデアを出しそれにお金がつくという形にしていかなければと思います。

ういうアイデア、どういったことをやっていくかを整理していかなければならぬと感じています。

佐藤 市役所の職員からアイデアが出てくる雰囲気とか、市民の方からアイデアが出てくる雰囲気とか、そういう場とか、協働といいますか、上手い形で一体化していくとむつ市版の地方創生ができるような気がしますね。

様々な取組で地域経済の活性化を図りたい(宮下市長) 宮下市長ならではの「トップセールス」を(佐藤)

佐藤 選挙の際の公約では色々出ていましたが、その中でまずはこれだというものがあれば。

宮下市長 やはり経済の活性化というところは日々の課題です。まず手をつけていきたい。その中でも地方創生に関係していえば、川内、大畑、脇野沢地区の活

性化策を早急に詰めていきたいという思いがあります。また、いま準備を始めていますが企業誘致にもしっかりと取り組んでいきたいと思つています。さらに、観光を含めた交流人口の拡大ということで、クルーズ船の誘致にむけたトップセールスがあります。そのような様々な取組を通じて一人でも多くの方にこのまちに来ていただく、すなわち交流人口を拡大することで地域経済の活性化を図りたいと思つています。来年は10市大祭典もむつ市で開催されますので、それらも含め魅力をPRする手段を少しでもつくっていききたいと思つています。

佐藤 トップセールスというキーワードが出ましたが、よく県内の

宮下市長 石破大臣は「やる気があつて知恵の出せる自治体を応援するが、そうでないところはごめんさい」という言い方をしています。私自身はやる気は人一倍あります。では、アイデアと知恵ですが、やはり多くの市民のみなさまからご意見を頂戴し色々なアイデアを出していきたいし、市民以外の方々のご意見も頂戴しながらやっていきたい。地方創生という大きな流れは早いペースでこちらまで届いて来ると思うので、それを捉えるために今のうちからそ



宮下 宗一郎(みやした そういちろう)

むつ市長
昭和54年むつ市生まれ
東北大学法学部卒業
国土交通省都市局まちづくり推進課課長補佐
同省 総合政策局建設業課課長補佐
外務省在ニューヨーク日本国総領事館政務/経済部領事
平成26年6月29日 むつ市長初当選





首長さんが東京のイオンやイトーヨーカドーで法被を着て売っていますが、あれは本質的なトップセールスではなくて、むしろ宮下市長が、これまでの国土交通省での人脈とかそこで得た色んなネットワークを通じて宮下市長でなくては決められないトップセールスみたいなものを是非やっていただきたいと思っています。

宮下市長 そのとおりだと思います。トップセールスとは私の考えでは、私しか会えない人に会って話を進めて行く、決めていくことだと思っています。例えば先日は官邸にも行ってきましたし、国土交通省や内閣官房にも行ってきました。その中で色んな新しい情報を取ってきて、それをこのまちでどうやって仕事にしていこうかと

広報紙が何のためにあるのかというのを考えると、まさに市民のみなさまのためにある訳です。ですから行政のことを一方的に伝える「市政だより」ではなくて「広報」として捉える。その意味で市民のみなさま同士の交流、市民のみなさまの取組もしっかりと紹介していくようなもの、まさにプラットフォーム的な役割が広報紙にはあるのではないだろうかと思えます。まず手がけられるところからやっていきたいということで、今見直しをしているという状況です。

佐藤 そういうところで変わると、新しい市長になったというメッセージが伝わってすごくいいと思います。

職員、市民との信頼関係から様々なアイデアが出てくる(佐藤)
様々なところに顔を出し、話しやすい雰囲気をつくっていく(宮下市長)

佐藤 宮下市長はアイデアをいっぱい持つてやりたいことがたくさんあると思うのですが、職員側からいっぱいアイデアが出てくるとか市民からもたくさんアイデアが出てこれやりたい、あれをやりたいというようにそんなむつ市にしていきたいですね。

考える、そしてさらに話を進めるためにまた会いに行く、その繰り返しだと思います。そういう意味ではむつ市長であればこそ会ってくれる人たちに会いに会い続け、この人の輪を大きな輪にしていくのかどうか力ギだと考えています。

「行政改革」、「職員へ四つのお願い」、「広報紙は市民のために」(宮下市長)
行政は部署を越え事業成果の最大化を(佐藤)

佐藤 さて、この公約を一つ一つ実現していかなくてはならないと思いますが、そのためにいま市役所内で取り組んでいることなどあります。

宮下市長 むつ市は行政改革についてずっと取り組んでいまして、来年度から次の新たな行政改革の期間となります。この改革に絡めて組織をしつかりと見直そうと議論を始めています。今の世の中の現状分析から始めて、むつ市がワンステップ、ツーステップ、ステップアップしていくためにどういう組織であるべきか、また私がお約束している公約を実現するためにどういう組織であるべきか、一から議論をしたいと思っています。

政策としては色んなアイデアが出てくるわけですが、それを実現していくのは組織です。そういう意味で政策と組織は車の両輪で、どちらかがダメでも前に進まないものなのでこの改革はしつかりやっていかなくてはと思っています。

就任当初の職員訓示で、私は四つのことをお願いしました。一つは市民目線です。これはやはり我々自身も市民ですから、市役所に来た市民のみなさまに丁寧に対応するとか市民のみなさまの問題を本心に職員一人一人が自分のこととして考えて行くという話です。2つめは市長目線。自分のセクシオンにはこだわらず市政全般を俯瞰した上で、色んな問題の中に自分があるということとそれぞれの業務をやってほしい。3つめ

現場主義。机の上ではなく、困っている人々は市内にいるわけですし、そういう方々は常に必ずしも市役所まで来られるわけではないのですから現場に行つて、問題を具体的に解決できる職員になってほしい。最後に、日々の改善。私も公務員でしたが昨日の仕事も前提に今日の仕事をしていたのは、絶対発展しないんです。それどころか時代は動くわけですので少しずつ悪くなってしまう。それを前進する方向にもっていくためには昨日のことを前提としないで新しいことをやらなくてはいけない。イノベーション(変革)が大切です。

佐藤 役所の組織で私が感じているのは、例えば広報紙を制作するのは広報の担当だと思いますが、職員の大多数は広報は自分たちの仕事ではなくて広報の担当の仕事という意識になっていると思

現場主義。机の上ではなく、困っている人々は市内にいるわけですし、そういう方々は常に必ずしも市役所まで来られるわけではないのですから現場に行つて、問題を具体的に解決できる職員になってほしい。最後に、日々の改善。私も公務員でしたが昨日の仕事も前提に今日の仕事をしていたのは、絶対発展しないんです。それどころか時代は動くわけですので少しずつ悪くなってしまう。それを前進する方向にもっていくためには昨日のことを前提としないで新しいことをやらなくてはいけない。イノベーション(変革)が大切です。



宮下市長 そうですね、それこそが元気なむつ市だと思えます。そしてそれが少しでも実現できれば二種類あって、一つはお金のかかる提案でこれはやはり難しいところがある。これに対してお金がかからない提案というのはいくらでも実現可能性があるわけで、そういうのをどんどん出しながらみ

んなでいいまちにしていきたいと思っています。
佐藤 たぶん、そのような色々なアイデアが出てくる前提となるのは信頼関係だと思います。役所の中の市長に対する信頼関係であったり、市民のみなさんの市長に対する信頼関係です。「こう言えば、うちの市長だったらやってくれる」というような関係が大

のも上手だったと思えます。私も今「おでかけ市長室」という制度を引き続きやろうと思っていて、先日もある地区に行つてきました。まさに自宅におじゃまして10人くらいの人たちとお話しさせていただき非常にいい議論ができましたし、その場でいくつか課題を聞いてそれを解決していくということがあります。ただ、注意すべきは

システムをしつかり作つてやらなければいけないことです。あつちには行つて、こつちには行つていないとか、行つたところだけ何とかなっているということでは良くないと思います。ここでは「町内会」というのが一つのキーワードになります。一つ一つ全部を回すからコミュニケーションのある程度までまわりでお話を聞きに行くということ、そしてそこできつかりとした議論をしてその地域の課題を見つけて解決していく、場合によっては予算にも計上していく仕組みをこの2年くらいの間につくるといふことを非常に重視して今後やっていきたいと思えます。

子ども達の未来がむつ市の未来(宮下市長) むつ市を愛する気持ちを育てることが、本当の人口減少対策に(佐藤)

佐藤 あと、教育で一番というのは是非がらばってもらいたいと思います。

宮下市長 わがまちの現状、自分の経験ですが、やはり都会と比べると学ぶ場所としての選択肢が非常に限られています。東京にいれば自分の学力に合った学校に小中学校から通える。しかもそこに入った後も様々な勉強の機会が与えられます。運動にしても同じだと思います。しかし、このまちは少なくともそういう状況は現時点ではない。

私が教育について思うのは、前市長も非常に力を入れて取り組んできたと思いますが、やはりまずは子ども達の学力の向上、次に地域を愛する心を養ってほしいということだと思います。現場に行くと校長先生はじめ先生方は非常に良く頑張っていたらいては毎年度少しづつ成果が上がっている状況です。これをしっかりと長期的にも上向きにしていけるような仕組み作りをしていきたいと思っています。まちづくりというのはまさに人づくりです。子ども達の未来がま

て行けるようなまちになってもらいたいと思います。

宮下市長 一番というのは究極の目標でありまして一朝一夕にはいかない。一番を目指すために何が必要かという、まず過去をきちんと知る、そして現状の分析をする、その分析も徹底した数量分析をしなくてはいけないと思います。その上で将来の予測があるのだと思っっています。一番ということから始めて、その次に今の我々の財政規模や、地理的条件でどういうところを目指すのか、それが終わったならまたさらに次へと。次というのは改善だけではなくもっと違う新しいアイデアを持つてこなくてはいけません。

佐藤 やはり今までは感覚的な議論が多かったりとか、「どうせ無理だろう・・・」という思い込みのようなものがあったと思っ

ますが、そこは科学的な議論をしながら、いや無理じゃない、何とかこうすればやって行けるんだという雰囲気がこの地域の中に出てくる、たぶんそういうことが地方創生だと思っっています。

宮下市長 そうですね、やはりで

にむつ市の未来なわけですから、私はそこはある意味、最も重きをおいてやっていく一つの政策課題であると認識しています。

佐藤 いま宮下市長がおっしゃったむつ市を愛する気持ち、郷土の誇りを子ども達が持つということ、はたぶん人口減少対策でもあると思っ

宮下市長 端的に言う、戻ってきたと思う、そういう気持ちです。ね。

佐藤 雇用の場が用意されてい

ど、もう一つ大事なものは戻ってきたいという気持ちのような気がします。それこそ宮下市長が戻ってこられたように。そういう気持ちをつくるためにも教育がすごく大事です。前市長のときの「こども議会」は素晴らしい取組で、そこで出てきたアイデアに予算がついたり提案したことが実現したりすると地域に対する思いが深まってくるのではないのでしょうか。一旦はむつを離れてもまた戻ってこようという気持ちになって、そういう流れが本当の人口減少対策の

一つなのではないかという感じがします。

宮下市長 そうなんです。やはり非常に条件不利なのは先ほど申し上げたとおりで、さらに言えば高等教育機関、大学も立地していないという現状がある。そんな中で、例えばお医者さんにしても、今、少ない、少ないという話がありま

すが、これまでお医者さんをおまちでつくるためにどういう取組をしてきたか、例えばこの高校から医学部にだけだけ進学できるかというように取組にさらに注

目していく必要があると思っ

そこは中・長期的にはそういう視点をもってこのまちの教育をやっていかなくてはならないと思っ

てます。そしてまさに、それだけではない、地域を愛する心があつてはじめてここで何かしたいという気持ちになるわけですから、その両面があればいい形をつくってい

るまでやり続ける「こと」です。知って、まず、やってみて、あきらめずにやればできる、当たり前という気が

たり前ですが、物事は成功します。だから、今、これまでこの地域が知らなかつたたくさんのネットワークを持つている宮下市長が誕生し、できない理由ではなくできるよ

うに考えようという姿勢でやっていきたいというお話しなので、成果が出るまでとことんやり続けていけば本当にむつ市は変わっていくと思っ

宮下市長 改善だけではなく変革ということ、何か新しいアイデアが出てきてそれが全てを

えるといふぐらいの、ステイプ・ジョブスみたいな、そういう発想が市役所の中からも外からも、あ

るいはむつ市の外からも引っぱってこれるような、そういうことをやり続けられればきつとこのま

ちは変わるんじゃないかと思っ

す。

佐藤 物事が成功しない理由が三つあると言われていて、まず一つは「知らない」ということ。二つめ

は「知っていてもやらない」ということ。そしてもう一つは「成功す

るまでやり続ける

「こと」です。知って、まず、やってみて、あきらめずにやればできる、当たり前という気が

たり前ですが、物事は成功します。だから、今、これまでこの地域が知らなかつたたくさんのネットワークを持つている宮下市長が誕生し、できない理由ではなくできるよ

うに考えようという姿勢でやっていきたいというお話しなので、成果が出るまでとことんやり続けていけば本当にむつ市は変わっていくと思っ

宮下市長 改善だけではなく変革ということ、何か新しいアイデアが出てきてそれが全てを

えるといふぐらいの、ステイプ・ジョブスみたいな、そういう発想が市役所の中からも外からも、あ

けるのではないかと思っ

だこれは1年や2年で成果が出る話ではありませんので、方向付けを間違わないように、ブレないようにやっていくことだと思っ

す。これは私は、前市長からこれまでの取り組んできた財産をいた

だいていると思っ

き頑張つて行きたい、できれば教育でも1ランク2ランク上を目指して行きたいと思っ

成功のためには、あきらめずにやり続けること(佐藤)

やり続けられれば、きつとこのまちは変わる(宮下市長)

そこは中・長期的にはそういう視点をもってこのまちの教育をやっていかなくてはならないと思っ

てます。そしてまさに、それだけではない、地域を愛する心があつてはじめてここで何かしたいという気持ちになるわけですから、その両面があればいい形をつくってい

るまでやり続ける

「こと」です。知って、まず、やってみて、あきらめずにやればできる、当たり前という気が

たり前ですが、物事は成功します。だから、今、これまでこの地域が知らなかつたたくさんのネットワークを持つている宮下市長が誕生し、できない理由ではなくできるよ

うに考えようという姿勢でやっていきたいというお話しなので、成果が出るまでとことんやり続けていけば本当にむつ市は変わっていくと思っ

宮下市長 改善だけではなく変革ということ、何か新しいアイデアが出てきてそれが全てを

えるといふぐらいの、ステイプ・ジョブスみたいな、そういう発想が市役所の中からも外からも、あ

るいはむつ市の外からも引っぱってこれるような、そういうことをやり続けられればきつとこのま

ちは変わるんじゃないかと思っ

す。

佐藤 物事が成功しない理由が三つあると言われていて、まず一つは「知らない」ということ。二つめ

は「知っていてもやらない」ということ。そしてもう一つは「成功す

るまでやり続ける

「こと」です。知って、まず、やってみて、あきらめずにやればできる、当たり前という気が



Amy's Essay ~エイミーのヨモヤマ話~

国際交流推進員 山道エイミー

感謝祭&ブラックフライデー

アメリカ人はターキー(七面鳥)を食べることが有名だと思いますが、ターキーの丸焼きをするのは年に1回か2回ぐらいです。ほとんどのアメリカの家でターキーの丸焼きをするのは11月の第4木曜日で、アメリカのサンクスギビング(感謝祭)、別名「ターキーデー」とも言われています。

アメリカの感謝祭とは1620年にヨーロッパからアメリカに100人ほどのピルグリムたちがメイフラワー号という船に乗ってアメリカに永住するつもりで来たのですが、最初の寒い冬で40人以上が死亡しました。病気などで亡くなった人もいますが、秋に着いたため、冬を越すための食べ物十分に確保できなかったため、亡くなった人も多かったようです。

それで、1621年に先住民のネイティブアメリカンがピルグリムたちにアメリカの植物や動物を紹介し、育て方も教えたため、1621年の冬を無事越すことができました。たくさんのもを収穫できたことに感謝し、ネイティブアメリカンを招待し、祝宴を開いたことから、今の感謝祭が生まれました。アメリカに元々あった、動物(ターキー)や植物(トウモロコシ、カボチャ、ジャガイモ、クランベリー)を主にした食卓だったので、今でもその真似をして、感謝祭にはアメリカの伝統的な食べ物を食べます。

私の家ではターキーの丸焼きはもちろん、スタッフィング(ターキーの中に、切って混ぜ合わせたパン、リンゴ、セロリ、玉ねぎ、ソーセージ、ハーブを入れたもので、ターキーの出汁で柔らかく、美味しくなります)、マッシュポテト、クランベリーソース、グレービー(ターキーにかける肉汁のソース)、パンプキンパイ、アップルパイ、コーンブレッドなどを食べています。



今の感謝祭と言えば、料理が主役ですが、アメフトの試合をテレビで見たり、パレードを見たり、または自分が感謝していることを述べるという文化があります。食べる前に一人一人が「この美味しい食べ物、家族が集まったこと、健康でいること」などに感謝してから食べる家庭が多いでしょう。

そして、感謝祭の次日は昔から休みで4連休になる人が多いですが、その日が最近ではブラックフライデーと呼ばれています。クリスマス前の特大セールで、どこの店でも混み合いますが、たくさんの方が買い物にでかける日です。11月の第4金曜日で、店の経営が赤字から一気に黒字に変わることからブラックフライデーと呼ばれています。夜中から店の前に並び人も多く、混み合い過ぎて毎年ケガをする人もいるため10年ぐらい前から感謝祭の次の月曜日はサイバーマンデーと呼ばれ、ブラックフライデーの危険を避けるためにできたとも言われています。サイバーマンデーではオンライン・ショッピングでの特大セールが行われています。

大きなターキーを焼くのにオープンで6時間かかりますので、日本ではなかなか作れない料理ですが、アメリカのごちそうですので、機会があったら是非食べてみてください。



藤江 匠汰(脇野沢中1年)

僕が今回の体験を通して一番考えたことは、自分自身の将来についてです。様々な病気の原因を追及し、再生医療に関わる分野で働きたいと思います。



工藤 綾斗(田名部中2年)

白衣を着ての実験でしたが、研究者のような気分になりました。大学院生の指導を受けDNAの実験をしました。難しい用語がたくさん飛び交っていましたが、楽しく学ぶことができました。最後には「未来博士号」の賞状を教授からいただきました。この体験入学事業では、学習面だけでなく、礼儀・挨拶、電車の乗り方等将来社会に出たときに役立つことをたくさん教えてもらいました。これからの生活に必ず活用していきます。



中学生夢はぐくむ体験入学

市内の5名の中学生が夏休みに東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医科学研究教育施設(TWInS)を会場に開催された「早稲田大学 踊るDNA」に参加し、細胞の仕組みについての講義や中学校の授業では取り組むことのできない先端科学実験を体験してきました。

9月17日(水)、市役所本庁舎で行われた報告会では、宮下市長はじめ多くの関係者の前で理工系、医学系の最先端の設備を誇る大学での講義内容やDNA配列実験等について報告しました。体験入学を経験した子どもたちの感想を紹介します。



☎ 学校教育課指導担当
☎ 22-1111 内線 3137



皿井 永遠(大畑中2年)

僕は、最初不安でしたがリーダーを務めました。4人の協力があり無事に楽しく2泊3日の体験入学に行き帰ってこられました。大学の施設はとても素晴らしく、中学校ではみたこともない実験器具を使ってDNAについての実験を行いました。とても貴重な体験ばかりでした。体験したことをいかし将来の夢の実現に向けて、何事にも挑戦していこうと思いました。



大石 慧(大畑中2年)

PCRという反応を使いDNAを複製する実験をしました。特に難しい実験が、ピペットでゲルの1ミリの穴に液体を入れることでした。しかし、僕の班に付いてくれた大学院生が見本を見せてくれ、失敗なくできました。理科の授業では、使ったことのない実験用具を使い、DNAのことを勉強できてとてもうれしかったです。



田鎖 奏(田名部中2年)

どのDNAを増幅させたのかを確認する「電気泳動」の実験では、電流が流れることによって、マイナス極であるDNAがプラス極に引きつけられて動きます。その動き方は紫外線をあてるだけで見ることができます。紫外線の威力に感動しました。今回の体験入学に参加することで、自分のプラスになるものをたくさん得ることができました。今まで、理科の実験が楽しくなりました。





市内各地の活躍をお届けします！
あつと 陸奥覧
MU CHU RAN



10月15日(水) 苫生小学校6年生本庁舎見学

苫生小学校の6年生73名が、市役所の見学にやってきました。社会科体験学習のために訪れたもので、市役所の中はどうなっているのか、どんな仕事をしているのかを学びました。

この日は、宮下市長が公務の合間に子供たちを市長室へ招き入れ、みんなで記念写真を撮るなどしていました。

最後にはムチュランが駆けつけてくれ、子供たちはたいへんよろこんでいました。

10月15日(水) シルバーの日 清掃奉仕活動

むつ市シルバー人材センター(泉澤孝理事長)では、毎年10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせて、「シルバーの日」を定めて、毎年清掃奉仕活動を行っています。

今年は、約100名の会員が市役所本庁舎駐車場に集合し、運動公園方面、中央交差点方面の二手に分かれて清掃活動を行いました。



10月11日(土)・12日(日) 市民体育大会

10月11日・12日の2日間を主会期として、第54回むつ市民体育大会が開催されました。12日には、しもきた克雪ドームで開会式が行われ、功労者の表彰等が行われました。

8月31日の剣道競技から始まったこの大会は、20競技に約2,320名が参加し、日ごろ鍛えた技を競い合いました。



10月18日(土) 田名部高等学校大畑校舎閉校式

来年3月をもって閉校となる田名部高校大畑校舎(長者久保雅仁校長)の閉校式が、生徒やPTA、卒業生、学校関係者ら約230名が参加して行われました。

昭和23年、田名部高校大畑分校として開校、その後、大畑高校、田名部高校大畑校舎として67年に渡り、地域の高校として歴史を刻んできました。

最後に、参加者全員で校歌を斉唱し、それぞれが在校時の思い出にひたっているようでした。



10月12日(日) WINE AND JAZZ NIGHT 2014

川内地区にあるむつ市海と森ふれあい体験館(シエルホール)で『WINE AND JAZZ NIGHT 2014』が開催されました。

地元ミュージシャンの奏でるごきげんな音楽に、おいしい地元産ワインと地元食材によるおいしい料理、彩りを添えるステージライティングなど、シエルホールが昼の顔ともまた違う素敵な一面をのぞかせた空間がそこにありました。

昨年に引き続き2度目となるこの催しは、市内の飲食店が主催し、会場のシエルホールをはじめ、ワイン、ワイングラス、料理、舞台効果、そして演奏等々と多くの方々の協力のもとで開催されているそうです。

10月18日(土) ミナカダ祭

紅葉がまっさかりとなったこの日、イカす大畑カダル団主催による「ミナカダ祭」が行われました。

アフリカンパーカッション演奏や小目名ひばの子供会のもちつき踊り、のぼりに映像を映し出す幻想的なステージ、そして最後は大畑八幡宮例大祭祭囃子の乱囃子でフィナーレ。

来年にせまった薬研温泉開湯四百年祭の成功を誓いました。



ミナカダ祭の様子をスマートフォンなどでご覧いただけます。「COCOAR」アプリを利用して、この写真にかざすと動画が再生されます。

NEW 元気もりもり町内会① 新田町内会

元気に活動する町内会を紹介していきます。特色ある活動、市民のみなさんに、ぜひ知ってもらいたい活動など情報をお寄せください。

新田集落は津軽海峡に面した関根地区の大畑バイパスから山側に入る舗装道路を3km程進むと着きます。



畑中 哲 会長

豊かな山林の中に小川が流れ、かつては水田も多く、林業や農業のほか養豚が営まれて、町内会長の畑中哲（さとし）さんによると、昭和40年代の中頃は17世帯で77人が暮らしていたそうです。現在は、11世帯で20人となっています。

8月と10月に中央公民館が主催する新田ふれあい学級の様子を取材させていただきました。この事業は昭和48年から継続して取り組んでいて、地域や生活に関わる課題などを克服するための学習を年10回実施しています。

テーマは、8月が「料理教室」、10月は「昔の話」でしたが、会員はまるで家族のようで、阿吽の呼吸で生活している様子が見られました。また、普段から体を動かして仕事をしているためなのか、みなさんととても元気で実年齢よりかなり若く感じられます。

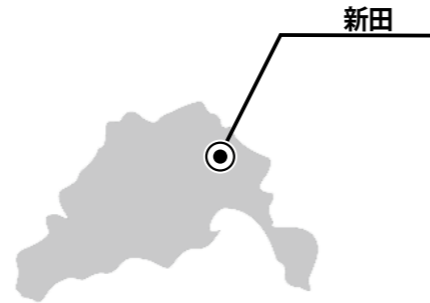
「昔の話」の学習では、自分たちの先祖がいつ頃からここに住んでいたのか、様々な資料を調べながら話し合いました。地元神社にある資料からは、江戸時代後半の西暦1800年より前には先祖が住んでいたと考えられるものの、正確な特定はできませんでした。また、その当時は田名部、高梨川目、新田、大畑地区の正津川・関根橋間にある道（ケンド）を徒歩や馬などで行き来していたようで、田名部と大畑や大間への往来の際には、新田集落が大事な経路になっていたことを知ることができました。

町内会に加入しましょう

町内会は、地域の方々の「連帯」を強め、「快適で住みよいまち」を目指し自主的に活動しています。また、防犯・防災の頼りとなるのも町内会です。市では、町内会への加入を促進し、地域と一体となって住みよいまちづくりを進めています。



市民連携広報課
☎ 22-1111 内線 2151



Pick Up Information

市観光交流センター「北の防人大湊 安渡館」 アイディア大募集！

水源池公園隣接地に「北の防人大湊地区都市再生事業」で整備を進めていた「むつ市観光交流センター 北の防人大湊 安渡館」がこのほど完成し、平成27年4月のオープンに向けて準備を進めています。

また、同事業では安渡館の山側に展望台も整備中で、今年度末に完成予定となっています。

市では、安渡館および公園内のアーチ式石造堰堤、旧文



〈内観パース 交流スペース〉

化財収蔵庫（旧大湊要港部官舎）、北洋館（海上自衛隊資料館）などと一体的に観光・交流の場としての賑わいを創出していきたく考えています。また、市民のみなさまと一緒にイベントなども開催したいと考えています。

四季折々のイベントや、土産品・食事メニューなどについて、北の防人大湊地区ならではのアイデアを募集しますので、ふるってご応募ください。



〈内観パース 食堂施設〉

〈どんな〉

①イベント（こんなイベントがあったらいい）

・イベント名（内容を簡条書きで、できれば必要経費なども）

例…ムチュランファミリーと一緒にクリスマスパーティー、ムチュラン雪像コンテスト

②土産品・食事メニュー（こんな土産品がほしい、こんな食事メニューがあればいい）

・土産品

例…海上自衛隊ストラップ、海軍タオル

・食事メニュー

例…大湊カレー、海軍ドーナツ（アピオス粉使用）

〈応募締切〉11月28日（金）

〈応募方法〉

住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ、郵送、FAX、メール、またはご持参ください。

Memo 「安渡（あんど）」とは？

- ・大湊地区にある古い地名
- ・明治4年、斗南藩によって安渡村と大平村を合併し、大湊と称した。
- ・大湊まつりの木遣歌には、「安渡良いところはお山、前は港で舟が着く」とある。

○「むつ市観光交流センター 安渡館」

最大34人が食事のできる食堂施設、物産販売施設、50人程度が利用できる交流スペース、情報提供ラウンジなどがあります。

○展望台

地上2階、地下1階でエレベーターで展望デッキまで行くことができます。

○旧文化財収蔵庫

文化・創作活動による市民交流の場として、多目的ホール、創作活動室、創作展示スペースなどができる予定です。



〈安渡館 正面〉

問 商工観光課

〒035-8686 むつ市中央1丁目8番1号

☎ 22-1111 内線 2646 F 22-7960

E mt-shoukou@city.mutsu.lg.jp

手続きの方法

平成27年4月から、新しく入園を希望するお子さんと、在園中で継続入園する場合のお子さんとは、手続きが異なりますので、入園までの流れを確認してください。



保育料について

新制度に移行する幼稚園、保育所等の保育料は保護者の市町村民税に応じて市が決定します。なお、認定区分等により保育料は異なります。また、毎年9月が保育料の切り替え時期となります。(8月までは前年度市町村民税収入に応じて決定)

受付時期について

- ・幼稚園等へ4月から新たに入所希望の場合
(1号認定の方)
11月より願書受付を行なっています。
- ・保育所等へ4月から新たに入所希望の場合
(2・3号認定の方)
1月を予定しています。詳しくは12月15日号に掲載予定ですのでご確認ください。
- ・現在入所している方
来年度も継続して利用する場合、各保育所等を通して12月頃ご案内します。



平成27年4月入所から幼稚園、保育所等の入所受付の方法が変わります!

子どもや子育てをめぐるさまざまな課題を解決するために、平成24年8月に「子ども・子育て支援法」ができました。この法律等に基づいて、幼児期の学校教育や保育・地域の子育てへの支援の量の拡充と質の向上を進めていくのが、「子ども・子育て支援新制度」です。(新制度に移行しない幼稚園等は、これまでと利用手続き等は変わりません。)

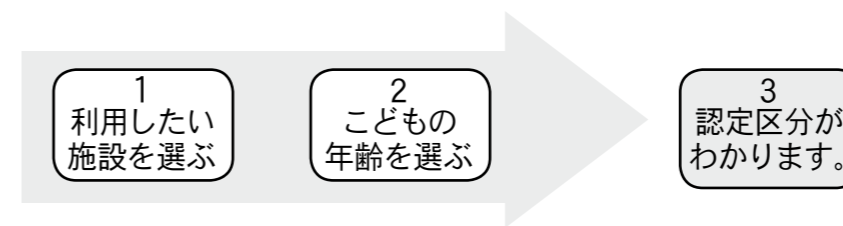
新制度のポイント



☎ 児童家庭課保育担当
☎ 22-1111 内線 2522

利用したい施設は? 認定区分は?

新制度では、幼稚園や保育所、認定こども園、地域型保育を利用するためには、認定の必要があります。認定には、子どもの年齢や保育の必要性に応じて、1号認定から3号認定までの3つの区分があります。認定区分によって利用できる施設や時間が変わりますので、ご確認ください。



利用したい施設		幼稚園	保育所	認定こども園	地域型保育
3歳児以上	1号認定 (教育希望)	★		★	
	2号認定 (保育希望)		★	★	
3歳児未満	3号認定 (保育希望)		★	★	★

◎保育を希望する場合は、市の定める保育を必要とする事由に該当することが必要です。

□就労している(月60時間以上)
□疾病・障害で保育ができない
□同居親族の介護をしている
□求職活動をしている
□妊娠中、または産後間もない場合 など

広報むつ MUTSU

みんながつながるむつ市の総合情報誌

有料広告募集中!

☆下1段(縦5.2cm×横18.1cm).....24,000円
☆下1段の1/2(縦5.2cm×横9.0cm).....12,000円

☎ 市民連携広報課 ☎ 22-1111 内線 2154

お墓なんでも相談会 11/13~11/15

- 耐震構造とデザインの両立!
- 高品質な墓石を低価格でご奉仕!
- 地震保険サポートサービス!

青森県内どこでもお墓を建てさせていただきます。

やっぱり小田桐石材に任せて良かったね!

RABラジオCMソング 放送中 板橋かずゆき♪「だいたいじょうぶ」

耐震墓石 小田桐石材 本店33-3166 大間37-5466
むつ市仲町15-8 小田桐石材 検索

【下北・七宝海】お歳暮ギフトセットのご案内
むつ下北地区商工会連絡協議会・七宝海事業では期間限定でお歳暮ギフトセットをご用意いたしました。(宅配限定)
・受付期間 12月5日(金)まで ・発送日 12月12日
お申し込みは、お近くの商工会窓口まで、代金と一緒にご持参下さい。

むつ市川内町商工会 ☎ 42-2301 / 大畑町商工会 ☎ 34-3500
東通村商工会 ☎ 48-2081 / 大間町商工会 ☎ 37-2233
風間浦村商工会 ☎ 35-2010 / 佐井村商工会 ☎ 38-2270

お知らせ 11月21日(金)~23日(日)10時~13時
むつ市「むつ来さい館」で出張受付を行います。

お問合せ先 / 青森県商工会連合会下北分室 ☎ 35-2333

豊稷の里海セット
限定 200セット 特産品 10点セット ・冷凍扱い

5千円セット(税別)送料サービス

- ほたてラーメン(2食)
- いかずし(2尾)
- 大間もずく(170g)
- 塩辛赤(120g)×2本
- いくら醤油漬(60g)
- いわし焼干し(50g)
- おおはた漬(120g)
- 粒うに(60g)
- 塩辛白(120g)

瀬原の詩セット
限定 100セット 特産品 7点セット

3千円セット(税別)送料サービス

- いわし焼干し(50g)
- 海狭いか墨カレー(200g)
- 大間マダラの缶詰(80g)
- ねばりしろろ(30g)
- 若生昆布(120g)
- ふのり(30g)
- 鮭とば(80g)

※万一、不漁等により商品調達が出来ない場合は、同等品で対応致しますことを予めご了承下さい



information

市役所からのお知らせ

市役所本庁舎 ☎0175-22-1111
川内庁舎 ☎0175-42-1111
大畑庁舎 ☎0175-34-1111
脇野沢庁舎 ☎0175-44-1111

お問合せメール
info@city.mutsu.lg.jp

市ホームページ
http://www.city.mutsu.lg.jp
市公式フェイスブック
https://www.facebook.com/mutsu.city

10月1日現在 人口・世帯数

※住民基本台帳による

総人口	61,739人 (+49人)
むつ地区	48,019人 (+79人)
川内地区	4,386人 (-11人)
大畑地区	7,535人 (-13人)
脇野沢地区	1,799人 (-6人)
総世帯数	29,444世帯 (+83世帯)
	()内は前月比

お知らせ

保育料夜間・休日窓口開設

11月25日(火)～30日

保育料のお支払いはお済みですか？市では、11月25日(火)から30日(日)までの期間、平日の窓口業務に加え、夜間や休日に窓口を開設して、保育料の納付相談と納付受付を行います。

仕事等で日中のお支払いが難しい方は、ぜひこの機会をご利用ください。

また、納付書を紛失した場合はすぐに再発行しますのでご連絡ください。なお、保育料の納付には、便利な口座振替の方法もありますのでご検討ください。

〈開設時間〉

・平日 午前8時30分～午後7時
・土曜・日曜 午前8時30分～午後5時15分

児童家庭課保育担当

☎22-11111内線2522

を行なってきましたが、この各種支援制度は、平成27年3月31日をもって終ることとなります。

期限までに地上デジタル放送対策工事を完了するためには、12月中の申し込みが必要です。特に積雪地域では積雪の影響から冬期間の工事が困難となりますので、早めの申込みをお願いします。

情報政策課情報化推進担当

☎22-11111内線2141

総務省地デジコールセンター

☎0570-07-0101

全国瞬時警報システム(J-ALERT)試験放送実施

市では、全国瞬時警報システムから送られてくる地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、確実に市民のみならずへお伝えするため、全国一斉の情報伝達訓練を行います。

なお、この放送は情報伝達訓練であり、市民のみならずに行動を要求するものではありません。訓練当日の災害発生状況や気象状況などに伴い、中止する場合があります。

〈いつ〉11月28日(金)午前11時頃

〈放送内容〉「これはテストです」を3回放送します。

防災政策課

☎22-11111内線2134

平成27年度母子・父子・寡婦福祉資金貸付予約受付中

市では、母子および父子ならびに寡婦福祉資金貸付の受付を行なっています。希望される方は児童家庭課または各庁舎市民福祉課までご相談ください。平成27年度より父子家庭の児童も対象となります。

〈対象となる方〉

- 平成27年4月の進学を希望している次のいずれかに該当する方
- 母子家庭の母が扶養する児童
- 父子家庭の父が扶養する児童
- 寡婦が養育する子
- 父母のいない児童

〈貸付対象資金〉

- 修学資金
- 修業資金
- 就学支度資金

〈締切〉平成27年2月10日(火)

※他制度による奨学金の貸与を受けける方、金融機関の融資を受ける方は対象となりません。

川内地区障がい福祉相談会

川内地区にお住まいで障がいをお持ちの方やそのご家族の方、また、障がいの方のご心配な方などを対象に、障害者手帳取得や障害福祉サービスの利用、補装具等に関すること、また、心配事や将来の不安等について個別相談会を開催します。市で委託している相談支援事業所の相談支援専門員が相談を受けます。

〈いつ〉11月14日(金)

午前10時～午後3時

〈どこで〉市役所川内庁舎

障害福祉課

☎22-11111内線2590

☎42-12111内線122

教室・講座

公民館だより

○子どもパソコン教室
〈いつ〉11月29日(土)

午前10時～正午

〈どんな〉

パソコンの簡単な操作方法を楽しく学びます。

〈対象・定員〉市内小学生・10名
〈参加費〉300円(教材費)

〈持ち物〉筆記用具
〈申込受付〉11月12日(水)から

児童家庭課児童家庭担当

☎22-11111内線2527

川内庁舎市民福祉課

☎42-12111

大畑庁舎市民福祉課

☎34-12111

脇野沢庁舎市民福祉課

☎44-12111

市税のお知らせ

○市税等第6期の納期限は
12月1日(月)です！
6月に第1期から第8期の納付書をまとめて送付していただきますので、第6期の納付書をお確かめのうえ納期限までに納付してください。

また、都合により第1期から第5期分の納付が遅れている方もあわせて納付してください。

市税完納強化月間

市では、11月26日(水)から12月25日(木)までの1か月間を「市税完納強化月間」とし、納期

むつ市民大学公開講座

〈いつ〉12月4日(木)

午後1時30分～3時30分

〈テーマ〉

神道文化～今さら聞けない
神社・神棚のシキタリ
講師 川内八幡宮 榎宜 石倉 司氏

〈送迎バス〉

受講登録している方を対象に川内・脇野沢方面および大畑方面からバスを運行します。運行時間等はお問い合わせください。

〈その他〉

- ・市民大学では、受講登録者を随時募集しています。
- ・公開講座は、市民大学登録者以外の方でも聴講できます。
- ・市民大学は、「あおもり県民カレッジ」の認定講座です。

中央公民館

☎24-11224

栄養教室

「バランス食の調理実習」

～野菜をとって血管を元気に～

〈いつ〉12月5日(金)

午前10時～午後1時

〈どこで〉

下北文化会館調理実習室
〈定員・参加費〉25名・無料

〈申込締切〉11月28日(金)
〈持ち物〉エプロン、三角巾、手拭きタオル、健康手帳(お持ちの方)

地上デジタル放送難視対策

各種支援は間もなく終了

平成23年にアナログ放送から地上デジタル放送に切り替わり、これまで国では地上デジタル放送難視対策として各種支援

〈開設場所〉

市役所本庁舎 事務課

〈開設日時〉

11月26日(水)～12月25日(木)
※土曜・日曜、祝日を除く、午前8時30分～午後7時30分
※ただし、11月29日(土)、30日(日)は納税週間として開設

健康推進課

☎22-11111内線2574

花とみどりの講習会(初心者向け)

みどりのさきもり館で開催

寒い冬だからこそ楽しめる植物を使って、おしゃれなコンテナガーデンをつくってみませんか？

グリーンアドバイザー 田村好子氏による花とみどりの講習会を開催します。
〈いつ〉12月6日(土)
午前9時30分～11時30分

〈どんな〉

園芸の基礎知識を学んだ後、コンテナへの寄せ植えを行います。

〈定員・参加費〉20名・無料
〈持ち物〉作業できる服装で、ゴミ手袋、筆記用具を持参

〈申込方法〉

11月19日(水)から28日(金)に、電話かFAXで住所、氏名、電話番号をお知らせください。
※定員になり次第締切

〈その他〉

園芸に関する質問等がある場合は、事前にご連絡ください。講習会当日にお答えします。
☎22-11111内線2741

☎22-11111内線2134



むつ警察署からお知らせ

○「女性に対する暴力をなくす運動」期間
11月12日から25日まで

「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。
暴力は、対象の性別や当事者の間柄を問わず、決して許されるものではありませんが、特に、配偶者等からの暴力性犯罪、売買春、ストーカー行為等、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害する問題です。

むつ警察署では、女性に対する暴力に関する相談をいつでも受け付けています。お気軽にご相談ください。
問むつ警察署 電話22-11321
問警察安全相談電話 電話017-1735-19110

○知っているですか？
被害者の抱える苦しみ
社会全体で考えよう
11月25日から12月1日まで

は「犯罪被害者週間」です。加害者の身勝手な行為による凶悪犯罪や、無謀な運転等による交通事故が後を絶ちません。それらに巻き込まれた多くの県民が尊い命を失い、重大な傷害を負っています。また、直接的な被害だけでなく精神的な被害、経済的な困窮に苦しめられる被害者も多々います。

苦しむ被害者を生まないために、犯罪や交通事故のない、安全で安心して暮らせる青森県の実現をめざしましょう。

犯罪被害の深刻さや悲惨さ、命の大切さ、被害回復の困難性等を理解し、犯罪を許さないという意識をもちましょう。

問むつ警察署 電話22-11321
問青森県警察本部犯罪被害者支援室 電話017-1723-11321
問(公社)青森県被害者支援センター 電話017-1723-0783
問性犯罪被害者専用相談電話 (りんごの花ホットライン) 電話017-1777-8349

中小企業・小規模事業者の経営者のみなさまへ

個人保証なしで金融機関から融資を受けたり、事業が破綻しても一定の生活費を残すことができるルールができました。
①法人と個人の資産・経理が明

確に分離されている場合等において個人保証が不要となること

②多額の個人保証を行なっても、経営が行き詰まる前に、早めに事業再生や廃業を判断した際に一定の生活費が残ること、などを定める「経営者保証に関するガイドライン」が策定されました。金融機関と相談したい方はご連絡ください。

問中小企業基盤整備機構東北本部 電話022-1716-11751

11月は

労働保険適用促進強化期間

労働保険の手続きはお済みですか？労働者を1人でも雇っている事業主(農林水産業の一部を除く)は労働保険(労災保険・雇用保険)に加入する義務があります。手続きを行わない場合、職権により強制適用されることがあります。労働保険の手続きはお早めに！

・労災保険
業務災害および通勤災害により負傷等をした場合、必要な保険給付を行います。
・雇用保険
労働者が失業した場合、生活安定および再就職促進のため必要な失業給付を行います。

問ハローワークむつ 電話22-11331

新年祝賀会

市民のみなさまとともに新年を祝い、市のさらなる発展を願うため、新年祝賀会を開催します。

平成27年1月5日(月)午後6時
(どこ)で(プラザホテルむつ)
参加費4000円
申込締切12月5日(金)
※送迎バスを運行します。
問むつ商工会議所 電話22-2281
問市民連携広報課 電話22-11111内線2153

がん患者の会「ならは」
タオル帽子講習会

がん患者の会「ならは」では、抗がん剤治療の方が被るタオル帽子講習会を開催します。初心者でも簡単に作れますので気軽にご参加ください。申し込み不要です。
いつ11月27日(木)
午前9時30分～正午
(どこ)で(下北文化会館集会所2(持ち物)
裁縫セット、フエイスタオル

問むつ総合病院医療相談室 電話22-21111内線33351



大畑製織サークル会員募集

仲間になって、古布を活かした製織りのバッグや小物をつくってみませんか？見学希望の方はご連絡ください。
(どこ)で
さきあり工房(大畑町新町43番地)
問大畑製織サークル新宮 電話090-2277-0080

ホワイトリース
・クリスマスリース作り

冬期間飾れるリースとクリスマスリースを作ります。(あおもり県民カレッジ認定講座です。)
(いつ・どこ)で
11月12日から12月12日までの期間で、応募者によって調整します。お問い合わせください。(少人数制です)
(参加費)1800円
(ハプティ、スイーツ付き)

問ハンドメイド石川 電話080-2097-2371

社会福祉協議会

むつ地区地域福祉懇談会
地域住民に対する社会福祉協議会への理解を深め、住民参加による福祉向上を図ることを目的に地域福祉懇談会を開催します。
(いつ・どこ)で(参集町内会等)
※いずれも午後2時～3時30分

○11月21日(金)・近川集会所
中野沢、近川、奥内、浜奥内、神山、二又、金谷沢、大室平、第二石蔵平、今泉、中野沢開拓
○11月25日(火)
・大曲「ミニコミュニティセンター」
南町、南松町、赤川町、南赤川町、金曲、大曲、一里小屋
○11月26日(水)・城ヶ沢地区集会所
城ヶ沢、新城ヶ沢、宇曾利川、堺田、泉沢、永下、新之助
○11月27日(木)・市中央公民館
大湊上町、大湊浜町、大湊新町、大平町、並川町
○11月28日(金)・角違集会所
角違、大川目、近沢
○12月2日(火)・老人憩の家「福寿荘」
桜木町、宇田町、川守町
○12月3日(水)・老人憩の家「長寿荘」
鳥沢、川代、浜開根、出戸、新田、北関根、南関根、水川目、高梨、美付
○12月4日(木)
・海老川「ミニコミュニティセンター」
古川町、曙町、栄町、住吉町、海老川町、昭和町A、緑町A、緑町B、下北町

むつ市老人クラブ連合会

「生きがいサークル」
12月の日程

はじめて参加される方はあらかじめご連絡ください。なお、お花と手芸は材料費が必要です。

老人憩いの家「福寿荘」(新町)

電話23-5800

お花教室 4日(木)・26日(金)
手芸教室 2日(火)・16日(火)
詩吟教室 5日(金)・19日(金)
踊り教室 10日(水)・24日(水)
お茶教室 11日(木)・25日(木)
習字教室 5日(金)午後
コーラス教室 8日(月)・15日(月)
ダンス教室 10日(水)・24日(水)
カラオケ教室 8日(月)・22日(月)
囲碁・将棋教室 2日(火)・16日(火)
着付教室 3日(水)・17日(水)

ダンス教室は午後1時～3時、カラオケ・囲碁・将棋教室は午後1時～4時、その他の教室は午前10時～正午
老人憩いの家「福寿荘」(川守町) 電話29-1800
詩吟教室 2日(火)・16日(火)
日舞教室 1日(月)・15日(月)
着付教室 9日(火)
唱歌教室 5日(金)・19日(金)
カラオケ教室 11日(木)・25日(木)
カラオケ教室は午後1時～4時、その他の教室は午前10時～正午

※各教室とも新しく会員を募集しています。「福寿荘」または各単位老人クラブ会長までお問い合わせください。

問問合先・申込先 Fファックス Hホームページ Eメール

公共機関などからの情報をお伝えします。
公共機関の催し物などは、イベント情報に掲載しています。

問むつ市社会福祉協議会 電話33-30023

問問合先・申込先 Fファックス Hホームページ Eメール

市内で行われるイベント情報などをお伝えします。



11月16日 田名部高校大畑校舎 最後の文化祭

田名部高校大畑校舎は今年度をもって閉校となります。大畑校舎にとって最後の文化祭となります。昔の写真やアルバム展示も行いますので、ぜひ足をお運びください。

〈い〉11月16日(日) 開祭式 午前10時〜

〈どんな〉

- ・部門展示
- ・ステーションイベント
- ・模擬店営業

問青森県立田名部高校大畑校舎 34-3120

17日 釜臥山写真展

釜臥山の自然・民俗調査で記録した多くの写真や資料を展示します。

見る場所によって違った姿の釜臥山、春の訪れを告げる「雪形」、山頂付近に見られる奇岩群

22日 図書館ギャラリーコンサート

市民の文化・芸術活動の発表の場、情報発信の場、人と人の交流の場として、市民と図書館が一緒につくる「手づくりのミニコンサート」です。

出演者は、日本の伝統楽器等(琴)の師範初盛信子さんを代表とする「宮城社むつ初盛信子社中」のみなさんと、尺八の大師範星和夫さん、フルート奏者高橋あさかさんです。

日本の伝統楽器と洋楽器による演奏会です。みなさまのご来場をお待ちしています。

※駐車場は、隣接する(株)青工様、下北建設業協会様の駐車場が利用可能です。どついでご利用ください。

〈い〉11月22日(土) 午後2時〜3時 問市立図書館 28-3500

22日 地域のみなさまと考える 下北地域健康アップフォーラム

〈い〉11月22日(土) 午後1時15分〜3時30分 〈ど〉下北文化会館 〈どんな〉

- ・オープニング
- むつ工業高校生と星美幼稚園 園年長組によるダンス
- 親子でつくる下北食材を活用したヘルシーなご飯レシピ コンテスト表彰
- 健康トーク

「下北の未来のために 健康を考えよう」

青森県知事 三村申吉
むつ青年会議所 坂本大助氏
あおぞら組 島 康子氏
特別講演 「わたしの健康管理術」

「わたし」の健康管理術
〜アリス「サザエさん」
がんばりました45年!!
講師 声優・俳優 加藤みどり氏
サザエさんの声でおなじみ

〈その他〉
・試食コーナー (午前11時30分〜午後1時) ・体験展示コーナー (午前11時30分〜午後4時)等・入場無料
問下北地域県民局地域健康福祉部保健給室むつ保健所 24-11231

23日 下北吹奏楽団 第12回定期演奏会

〈い〉 11月23日(日) 午後2時30分〜 (2時間開場) 〈ど〉下北文化会館 〈どんな〉

- ・第一部 クワイーン・シティ組曲他
- ・第二部 組曲「惑星」より
- ・第三部 ポップス・ステージ

※変更する場合があります。

問下北吹奏楽団事務局 杉山 080-5554-6525
http://www4.hp-ez.com/hp/shimosubirass/

23日 郷土芸能定期公演と同時開催 横浜町・佐井村特産品販売

〈い〉11月23日(日) 午後0時30分〜5時

○横浜町・佐井村特産品販売
○郷土芸能定期公演会
「天越雲芸能保存会」(佐井村) による歌舞伎 午後5時〜
〈ど〉むつ来さまい館
問むつ来さまい館 33-8191

問下北観光協会連合会 23-11311

25日 地熱講演会

市では、燧岳周辺の地熱開発に向けた理解を深めるため、講演会を開催します。

〈い〉11月25日(火) 午後3時〜5時
〈ど〉むつグランドホテル (講師)

国立大学法人弘前大学北日本新エネルギー研究所 (所長・教授) 村岡洋文氏 (准教授) 井岡 聖一郎氏

問企画調整課エネルギー政策担当 22-11111 内線2332

29日 県立むつ高等技術専門学校 一日技能教室

〈い〉11月29日(土) 午前8時30分〜正午
〈対象〉受講料(中学生以上・無料) 〈コース〉どんな・定員

・建築コース:マガジンラック製作 (中学生、高校生、一般各10名)
・配管コース:ミニチュア製作 (一般10名)

※製作品はお持ち帰りできます。
〈募集期間〉11月18日(火)〜21日(金) 午前9時〜午後5時
〈申込方法〉電話または直接来校 (準備するもの)
作業可能な服装、上履き

問県立むつ高等技術専門学校 24-11234

30日 第4回東日本大震災復興支援 むつ市・会津若松市姉妹都市 盟約締結30周年記念第九演奏会

おつ下北第九の会は、小泉智彦氏(プロ指揮者)を招いて、J.R東日本交響楽団の支援を得て、第九演奏会を開催します。

〈い〉11月30日(日) 午後1時30分
〈ど〉下北文化会館

〈出演〉 指揮 小泉智彦 ソリスト 志田尾恭子(ソプラノ) 宮澤優子(アルト) 葛西健治(テノール) 大塚雄太(バリトン) 管弦楽 J.R東日本交響楽団 合唱 むつ下北第九の会 会津第九の会 青森第九の会他 (入場料) 一般1500円(前売り1300円) 高校生以下無料 (入場券販売場所) 下北文化会館

問むつ下北第九の会 藤野 23-7291 高島 22-7631

12月19日 家族介護教室「食シリーズ④」

〈い〉12月19日(金) 午前10時〜11時30分
〈ど〉下北文化会館

〈どんな〉 作ってみよう!バランスの良い食事 講師 青森県栄養士会 管理栄養士 野呂 浩子氏

〈その他〉 どなたでも参加できますので、お気軽にお申し込みください。エプロンをご持参ください。

問むつ市地域包括支援センター 23-7930

防災行政用無線情報テレホンガイド
☎電話で放送内容を確認できます☎
各地区放送内容の確認はこちらへ! (自動音声)
むつ地区 ☎ 22-7400 川内地区 ☎ 42-3741
大畑地区 ☎ 34-3000 脇野沢地区 ☎ 44-3741
※平日午前8時30分〜午後5時15分の間に更新しています
問 市民連携広報課 ☎ 22-1111 内線 2153

宝くじの助成金で整備した備品を紹介します!

下北消防本部では、(一財)自治総合センターが実施している宝くじの社会貢献広報事業で、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業により、並木保育園幼年消防クラブに鼓笛隊セットを整備しました。

問 むつ消防署 ☎ 22-1680

各種相談日程

- 法律相談**
時 12月25日(木) 12:30～ **問** 市民連携広報課
場 市役所本庁舎市民相談室 ☎22-1111内線2153
 受付は11月17日(月)午前8時30分開始。1人30分、定員6名(先着順)
- 法テラス法律相談**
時 12月10日(水) 12:30～ **問** 法テラス青森
場 市役所本庁舎市民相談室 ☎050-3383-5552
 1人30分、定員6名(先着順)
- 行政相談**
時 12月15日(月) 10:00～15:00 **問** 市民連携広報課
場 市役所本庁舎市民相談室 ☎22-1111内線2153
 行政が行う仕事についての各種相談を受けます。
- 行政相談**
時 12月12日(金) 9:00～12:00 **問** 大畑庁舎管理課
場 大畑庁舎 2階第2会議室 ☎34-2111
 行政が行う仕事についての各種相談を受けます。
- 心配ごと・結婚相談**
時 毎週月曜日 10:00～15:00 **問** かつ市社会福祉協議会相談所専用電話
場 社会福祉協議会(市役所本庁舎内) ☎22-2731
 祝日の場合は翌日
- 教育相談**
時 土・日・祝日を除く毎日 9:00～16:00 **問** 相談専用電話
場 場所は教育研修センター ☎22-0974
 予約制です。中学生までの教育に関する相談に応じています。

時日時 **場**場所 **問**問合先・申込先

- 消費生活相談**
時 土・日・祝日を除く毎日 8:30～17:15 **問** かつ市消費生活センター
場 市役所本庁舎商工観光課内 ☎22-1353
 契約や悪質商法、多重債務などの相談を受けます。
- 暮らしとお金の安心相談会**
時 第3水曜日 10:00～16:00 **問** 消費者信用生活協同組合青森相談センター
場 市役所本庁舎市民相談室 ☎017-752-6755
 予約制です。借金など家計の悩みについての相談を受けます。
- 人権相談**
時 土・日・祝日を除く毎日 8:30～17:15 **問** 青森地方法務局かつ支局
場 下北合同庁舎 2階相談室 ☎23-3202
 家族間や近隣関係のこと、学校や職場内のことなどの相談を受けます。
- こころの健康相談**
時 毎月1回 お問い合わせください **問** 下北地域民局地域健康福祉部(かつ保健所)
場 かつ保健所 ☎24-1231
 心の悩み、心の病気、認知症等の相談を随時受けます。
- 女性の健康相談**
時 12月18日(木) 10:00～12:00 **問** 下北地域民局地域健康福祉部(かつ保健所)
場 かつ保健所 ☎24-1231
 予約不要。女性の心身の健康に関する相談に応じます。
- 健康なんでも相談**
時 土・日・祝日を除く毎日 8:30～17:15 **問** 健康推進課
場 健康推進課 ☎22-1111内線2574
 保健師や栄養士がご相談をお受けします。

～6月・11月は食育月間～

笑顔で広がるおいしいご飯、笑って食べて心も体も健康に！ ～第2次かつ市食育推進計画スローガン～
 今回は「いただきます教室」を紹介します。



◆教室の内容◆
 栄養士が「いただきますのお話」・「ジュースのお話」・「うんちのお話」・「3つの色の食べ物」等を、歯科衛生士が「ボサボサ歯ブラシの話」・「前歯・奥歯のちょちょみがかき」等を、そして保健師が「生活リズム、5つの約束」のお話をしています。



市内保育園(所)・幼稚園の園児を対象に1施設3回シリーズで実施している教室です。“子どもたちに楽しく、わかりやすく”をモットーに食に関する正しい知識や基本的な生活習慣を劇や講話を取り入れて行なっています。



問 健康推進課予防担当
 ☎22-1111(内線2584)



～早寝、早起き、朝ごはん～
 3度の食事から健康づくりをはじめましょう！
 食べ物は「ちから」「からだ」「ちょうし」の3つの貨車に分けられています。毎日、3つの色を揃えて食事しましょう！



消費生活センターだより

Vol.28 **トラブル解決 名義詐欺にご注意！**

相談事例

女性宅に金融会社を名乗る男性から電話があり、「お金を融資するので大手A社に電話をかけて、口座番号を聞いてください」と言われた。女性は指示されたとおり、口座番号を聞いて金融会社に伝えたとこ、大手A社の担当者から、「我が社の口座番号を金融会社に教えたのは犯罪だ。逮捕されなければ金を送れ」と言われ、東京都内の指定された住所に現金を郵送した。逮捕されるのではないかと不安である。

問 市消費生活センター(商工観光課内)
 ☎22-1353(直通)または☎22-1111内線2644
 (土曜、日曜、祝日、お急ぎの場合などは)
 全国共通消費者ホットライン
 ☎0570-064-370

アドバイス

突然、電話がかかってきて、よく分からないうちにお金を払ってしまう手口の詐欺が市内でも複数発生しています。被害に遭わないためには、

- あやしい電話に出ないことが一番です。番号表示サービス等を活用し、知らない相手の電話には出ないようにしてください。
- 万が一電話に出てしまった場合は、「一切お断りします」と手短かに電話を切りましょう。相手と長話をするのは禁物です。
- 電話以外にも、架空請求のハガキやメールが届き、あなたからの電話連絡を求めてきますが、相手には絶対に連絡をしないで無視しましょう。

このような電話があったり、被害に遭った場合は、すぐにかつ市消費生活センターまたは警察署に相談してください。

12月の予防接種

○12月の予防接種の日程に変更はありません。
 実施日・予約の有無等、詳細は「平成26年度健康づくりカレンダー」でご確認ください。



健康教室・健康診査

『乳幼児健診』『離乳食教室』『赤ちゃん教室』『離乳食教室・赤ちゃん相談』実施中！

市ではお子様のすこやかな成長・発達を願い、乳幼児健診や各種健康教室・健康相談等を開催しています。個別のご案内が届きましたら、是非ご利用ください。

また、ご案内の日程以外でもご利用できますので、その他の日程・受付時間等につきましては、市ホームページ、「平成26年度健康づくりカレンダー」をご覧ください。

問 健康推進課 ☎22-1111
 川内庁舎市民福祉課 ☎42-2111
 大畑庁舎市民福祉課 ☎34-2111
 脇野沢庁舎市民福祉課 ☎44-2111

この人

むつちゅ星

表紙ロゴデザイン

竹内 崇高 さん
そうすけ



この人むつちゅ星では、市内で活躍する方にスポットをあてて紹介します。

今回のリニューアルに伴い、広報紙の顔となるロゴのデザインをした竹内崇高さんを紹介いたします。

竹内さんは、むつ市の地図とMUTSUをモチーフにシンプルなものをつくりたかったとのこと、また、あつと陸奥覧のロゴも自信作なので、隠れているものを見つけてほしいとのことです。

「むつ市を笑顔で埋め尽くしたい」との思いから、2013年2月の『discoveryむつproject』としてDesign/ideaをメインに活動開始。

ただただ、むつ市を笑顔で埋め尽くしたい。「せつかく住んでいるんだから、手をつないで行こう」って思っています。

「笑顔を作れるのは人間だけなんだから、もったいないじゃん。」
竹内氏談

市政だよりは今号から広報むつへ！

むつ市政だよりは、昭和38年の創刊から824号を発行することができました。今号からは、むつ市議会第221回定例会で述べさせていただいたとおり、新たに「広報むつ」として刷新し、『みんながつながるまちの総合情報誌』を目指し、市の重要政策のお知らせの場として、市民のみなさまの活動を紹介する場として、さらに、これらをつなぐ場として、市民のみなさまとともに歩んでまいります。

今後は、10日発行の下旬号に、市の重要施策に関する特集記事を掲載し、25日発行の下旬号は、お知らせ情報を主体としたお知らせ版とします。

また、表紙のデザインも一新し、気持ちを新たに第1号として開始します。

これからも市民のみなさまのご意見やご要望に添えるよう、より良い広報を目指してまいります。

MUTSU

-みんながつながるむつ市の総合情報誌-

陸奥覧

MU CHU RAN

2014.11.10

広報むつ

Vol.1

info@city.mutsu.lg.jp

http://www.city.mutsu.lg.jp

https://www.facebook.com/mutsu.city

編集・発行 むつ市総務政策部市民連携広報課 ☎0175-22-1111

〒035-8686 青森県むつ市中央一丁目8番1号